

海
の
底
で
僕
ら
は
—
。

進級制作最終プレゼン

2G 09 中川和奏

市場調査

現在温暖化の進行が早くなってきている



海面上昇が問題に



海面上昇すると…？

街がしずんで人々の住む場所がなくなる

コンセプト

海底都市 × キャンドル

温暖化の影響で海面上昇が進んでいる今の世界で
その進行を止めることができるのは自分達だという意味を込めました。

ターゲット

キャンドルやひとり時間が好きな人

サブターゲット

温暖化に興味がある人

商品タイトル

海の底で
僕らは—。

縦書きにすることで
物語の続きを問いかける
ように
物語の続きは自分達の
行動で決まるということが
わかるように『—』(ダッシュ)

商品情報

販売場所：雑貨屋、公式サイト

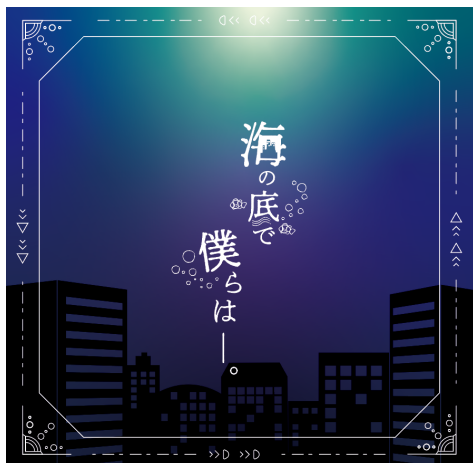
販売価格：2,500 円（税抜）

販売元：株式会社 海底研究所



制作物（パッケージ）

前



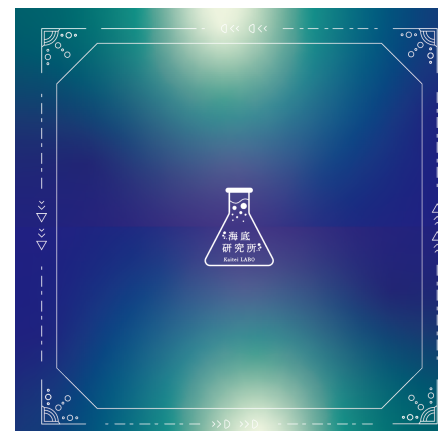
後



側面

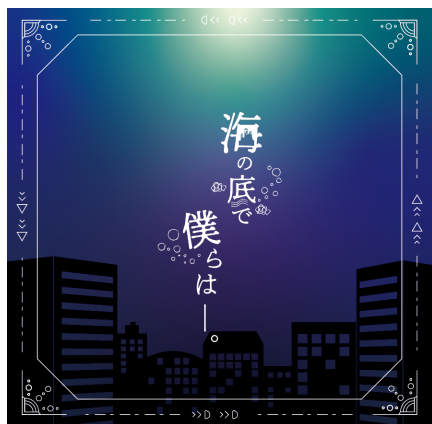


蓋

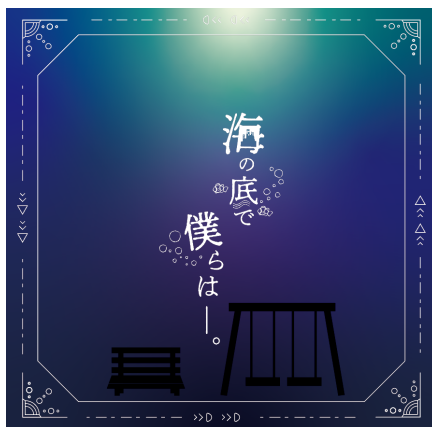


制作物（パッケージ）

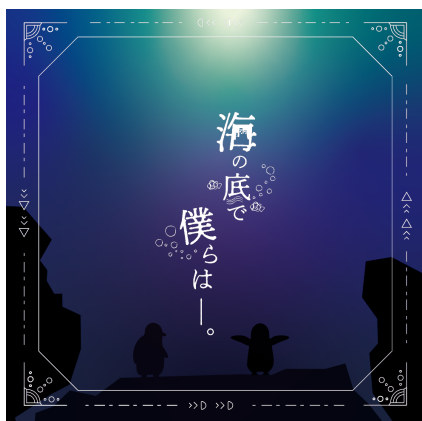
都市



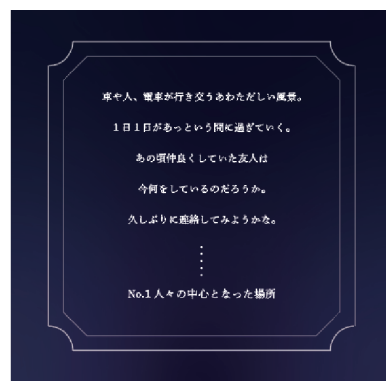
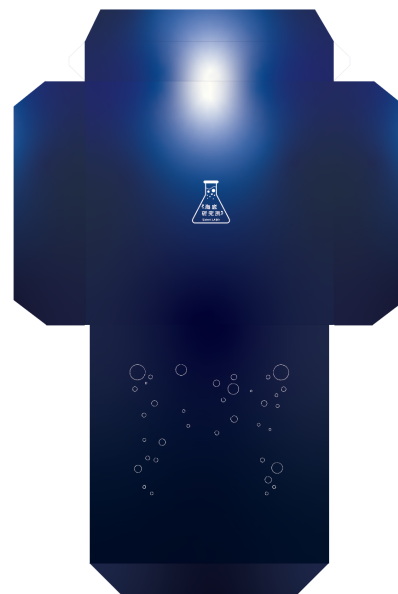
公園



南極



中身（蓋）



一つ一つの
商品に
ミニストーリー付き

溶けた後のイメージ



都市



公園



南極

海底都市なので以前は人がいたであろうと
思えるような作品に
ペンギンは親を待っている様子など
どこか寂しさを感じるようなデザインに

パッケージデザイン（実際のもの）



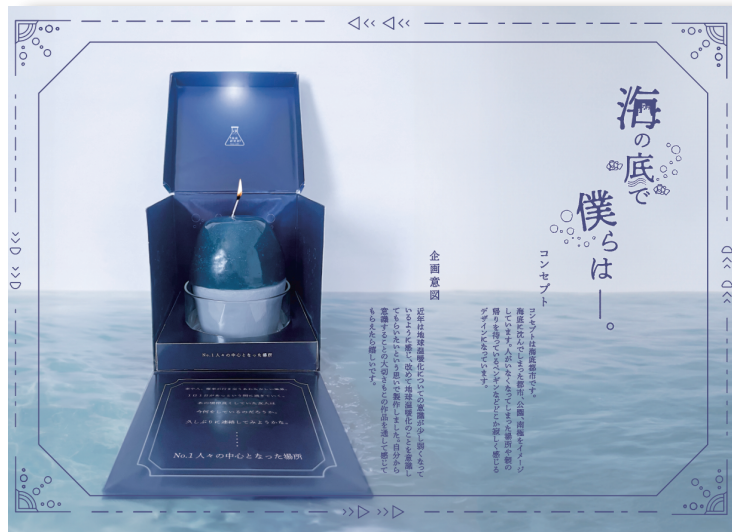
キャンドルを横からみて欲しかったので
この箱の形状に
溶けた後に箱に入れて鑑賞できる

ビジュアルパネル



海底なので
海の底に沈んでいるイメージ
パッケージで使っているグラデーション
を少し透けさせて統一感が出るように
物語が始まる前の静けさが
出るように

コンセプトボード



全体の写真と溶かす前の
キャンドルを置くことで
全体のイメージが取れるように



一つ一つのストーリーの始まりの分のみ
記載
背景には水の泡を配置することで水中に
あるようなデザインに